

様式1 (主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	5-(5)-イ	産業を担う人づくり	施策	④建設産業を担う人材の育成・確保
			施策の小項目名	○多様な人材の確保
主な取組	業界等との連携による建設産業人材育成（多様な人材の活用）		対応する成果指標	建設産業の魅力発信事業等実施数
施策の方向	<p>・顕著となっている人手不足対策については、若手や女性従業員を対象とした研修等を支援するなど、多様な人材の確保に取り組むとともに、AI、IoT、ロボット、ビッグデータ等の技術革新に対応できる人材を積極的に活用できる環境づくりを行い、今後の情報技術や新技術を活用した生産性向上の取組強化を図ります。</p>			

1 取組の概要 (Plan)

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画			
		活動指標(アウトプット)			
		R4	R5	R6	
若手や女性、新技術への対応等、多様な人材の活用に係る講習会の開催	県関係団体	若手や女性、新技術への対応等、多様な人材の活用に係る講習会の開催			
		講習会の開催回数(累計)			
		3回	3回(6回)	3回(9回)	
担当部課【連絡先】	土木建築部技術・建設業課		【 098-866-2374 】	関連URL	—

様式1 (主な取組)

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況				(単位：千円)		
予算事業名	—			予算事業名	—	
主な財源	実施方法	R3年度 決算額	R4年度 決算見込額	R5年度		
				主な財源	実施方法	当初予算額
—	—	—	—	—	—	—
令和4年度活動内容				令和5年度活動計画		
若手や女性、新技術への対応等、多様な人材の活用に係る講習会を6回開催した。				若手や女性、新技術への対応等、多様な人材の活用に係る講習会の開催。		

活動指標名	講習会の開催回数 (累計)		R4年度			進捗状況	活動概要
	R2年度	R3年度	実績値 (A)	目標値 (B)	達成割合 A/B		
実績値	—	—	6回	3回	100.0%	順調	ICT施工講習会を開催し、新技術について普及を図った。また、総合評価落札方式講習会を開催し、若手や女性の技術者及びICT施工を活用するインセンティブを周知した。

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果

目標を超える回数のICT施工講習会及び総合評価落札方式講習会を実施したことから、取組は順調と判断した。多様な人材の活用について普及・啓発を図った。

(2) これまでの改善案の反映状況

令和4年度の取組改善案	反映状況
—	ICT施工講習会においては、ICT活用工事の追加対象となった工種の概要説明を行い、新技術の普及を図った。総合評価落札方式講習会においては、若手や女性の技術者の活用及びICT活用工事実績が評価項目となっていることを周知し、多様な人材の活用を推進した。

様式1 (主な取組)

3 取組の検証 (Check)		4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容	類型	内容
① 県の制度、執行体制(内部要因)	建設業を担う人材の確保は喫緊の課題であり、若手や女性の技術者及びICT施工の活用について、講習会において周知を図る必要がある。	⑤ 情報発信等の強化・改善	情報発信の強化・改善を行い、引き続き講習会を開催することで、多様な人材の活用を推進する。

様式1 (主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	5-(5)-イ	産業を担う人づくり	施策	④建設産業を担う人材の育成・確保
			施策の小項目名	○技術者・技能者等の育成・確保
主な取組	若手建築士の育成		対応する成果指標	建設産業の魅力発信事業等実施数
施策の方向	・多様化・高度化するニーズに対応できるよう、技術者・技能者等の育成・確保に取り組むほか、海外建設市場等の新市場進出に向けた取組や国際交流等を通して、海外建設市場において必要とされる技術力や語学力、海外の商習慣等への知識を有する人材の育成・受入れを促進します。			

1 取組の概要 (Plan)

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R4	R5	R6
県内の若手建築士の育成および建築技術の向上と発展を図ることを目的に、若手建築士を対象とした設計競技を行う。	県	若手建築士を対象とした設計競技を実施し、金賞作品について設計業務を委託		
		設計競技金賞作品の提案者に対する設計業務の委託件数(累計)		
		1件	1件(2件)	1件(3件)
担当部課【連絡先】	土木建築部施設建築課	【 098-866-2416 】	関連URL	-

様式1 (主な取組)

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況				(単位：千円)		
予算事業名 建築営繕管理費				予算事業名 建築営繕管理費		
主な財源	実施方法	R3年度 決算額	R4年度 決算見込額	R5年度		
				主な財源	実施方法	当初予算額
県単等	委託	7,844	8,610	県単等	委託	12,425
令和4年度活動内容				令和5年度活動計画		
若手建築士を対象とした設計競技を実施し、当該競技で金賞を取得した作品を元に、翌年度以降の実施設計業務につなげた。				若手建築士を対象とした設計競技を実施し、当該競技で金賞を取得した作品を元に、翌年度以降の実施設計業務につなげる。		

活動指標名	設計競技金賞作品の提案者に対する設計業務の委託件数 (累計)		R4年度			進捗状況	活動概要
	R2年度	R3年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B		
実績値	1件	1件	1件	1件	100.0%	順調	若手建築士を対象とした設計競技を行い、当該競技で金賞を取得した作品を元に、翌年度以降の実施設計業務につなげた。

様式1 (主な取組)

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果	
海軍豪公園展望台について、若手建築士を対象とした設計競技を行った結果、53件（98名）の応募があり、若手建築士の意欲・企画提案能力・技術力の向上につながった。県発注業務の委託についても計画通り実施でき順調であった。	
(2) これまでの改善案の反映状況	
令和4年度の取組改善案	反映状況
施設管理者へ若手建築士の育成や建築技術の向上と発展について説明し、施設管理者との調整会議や現場視察等、密な連携・情報共有をする。	施設管理者へ若手建築士の育成や建築技術の向上と発展について説明し、施設管理者との調整会議や現場視察等、密な連携・情報共有をした。

3 取組の検証 (Check)	
類型	内容
① 県の制度、執行体制(内部要因)	若手建築士の育成にふさわしい対象事業を継続的に選定することが必要である。(適正な用途・規模・設計期間の確保)
⑦ その他(改善余地の検証等)	取り組みへの施設管理者の理解と、施設管理者との密な連携・情報共有が必要である。

4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容
② 連携の強化・改善	施設管理者へ若手建築士の育成や建築技術の向上と発展について説明し、施設管理者と調整会議や現場視察等、密な連携・情報共有をする。

様式1 (主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	5-(5)-イ	産業を担う人づくり	施策	④建設産業を担う人材の育成・確保
			施策の小項目名	○技術者・技能者等の育成・確保
主な取組	海外建設市場等の進出促進に向けた研修等の実施		対応する成果指標	建設産業の魅力発信事業等実施数
施策の方向	・多様化・高度化するニーズに対応できるよう、技術者・技能者等の育成・確保に取り組むほか、海外建設市場等の新市場進出に向けた取組や国際交流等を通して、海外建設市場において必要とされる技術力や語学力、海外の商習慣等への知識を有する人材の育成・受入れを促進します。			

1 取組の概要 (Plan)

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R4	R5	R6
必要とされる技術力・語学力、海外の商習慣等への知識を有する人材の育成の促進を図るため、県内建設企業向けの海外建設市場等への進出促進に向けた研修等の取組を実施する	県関係団体	県内建設企業向けの研修等の開催		
		海外展開に向けた研修等に参加した人数(累計)		
		20人	20人(40人)	20人(60人)
担当部課【連絡先】	土木建築部土木総務課	【 098-866-2384 】	関連URL	-

様式1 (主な取組)

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況				(単位：千円)		
予算事業名	-			予算事業名	-	
主な財源	実施方法	R3年度 決算額	R4年度 決算見込額	R5年度		
—	その他			主な財源	実施方法	当初予算額
				—	その他	
令和4年度活動内容				令和5年度活動計画		
令和5年1月26日および27日で行われた沖縄インフラツーリズム研修の実施。				令和4年度実施の研修と同様の研修の実施。		

活動指標名	海外展開に向けた研修等に参加した人数 (累計)		R4年度			進捗状況	活動概要
	R2年度	R3年度	実績値 (A)	目標値 (B)	達成割合 A/B		
実績値	-人	-人	17人	20人	85.0%	概ね順調	令和5年1月26日および27日でJICA沖縄が主催し、本県が共催して実施した沖縄インフラツーリズム研修において、県内建設企業からは計17人が参加する研修開催を実施した。

様式1 (主な取組)

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果	
<p>沖縄インフラツーリズム研修は、JICA長期研修員（各国の政府機関建設技術者等）と県内建設企業の人的・技術的ネットワーク構築を支援することを目的とした研修である。県内建設企業からは計17人が参加したが、目標値に達しなかったことから、取組はおおむね順調と判定した。なお、当該研修開催の時期は新型コロナウイルス感染症とインフルエンザの同時流行が懸念されていたため、参加人数が伸びなかったと史料される。</p>	
(2) これまでの改善案の反映状況	
令和4年度の取組改善案	反映状況
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 講義等の研修内容の充実を図るため、JICA沖縄や関係機関等との事前調整を繰り返し行い、必要となる研修生や研修手法等に関する情報収集に努めた。 ・ 本県の地域特性により培われてきた技術等の周知を図るため、離島架橋等の建設記録動画等が公開されている本県公式YouTubeチャンネルを紹介した。

3 取組の検証 (Check)	
類型	内容
④ 社会・経済情勢の変化(外部環境の変化)	令和4年度の進捗状況が新型コロナウイルス感染症等の影響を受けたことから、沖縄インフラツーリズム研修とは別の新たな研修の構築等、活動内容の補填の検討する。
④ 社会・経済情勢の変化(外部環境の変化)	令和4年度の進捗状況が新型コロナウイルス感染症等の影響を受けたことから、県内建設企業に対する沖縄インフラツーリズム研修の認知度の向上等、活動内容の継続的な改善の検討する。

4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容
⑥ 変化に対応した取組の改善	新たな研修の構築等に向けて、県内建設企業からのヒアリング等を行い、海外展開に向けた課題および懸念等を把握をしたうえで、新たな研修の実施内容および実施方法等の確立を図る。
⑤ 情報発信等の強化・改善	当該研修の認知度の向上に向けて、県内建設企業からなる関係団体へ当該研修に関する情報提供等を行った上で、SNS等を活用した情報発信等の強化を図る。

様式1 (主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	5-(5)-イ	産業を担う人づくり	施策	④建設産業を担う人材の育成・確保
			施策の小項目名	○技術者・技能者等の育成・確保
主な取組	途上国等の行政職員へ向けた現場視察の実施		対応する成果指標	建設産業の魅力発信事業等実施数
施策の方向	・多様化・高度化するニーズに対応できるよう、技術者・技能者等の育成・確保に取り組むほか、海外建設市場等の新市場進出に向けた取組や国際交流等を通して、海外建設市場において必要とされる技術力や語学力、海外の商習慣等への知識を有する人材の育成・受入れを促進します。			

1 取組の概要 (Plan)

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画			
		活動指標(アウトプット)			
		R4	R5	R6	
必要とされる技術力・語学力、海外の商習慣等への知識を有する人材の受け入れの促進を図るため、途上国等の行政職員へ向けた現場視察等の取組を実施する	県,JICA沖縄	JICA沖縄が実施する研修等において、県内現場視察実施			
		建設分野の研修等における視察現場件数(累計)			
		2件	2件(4件)	2件(6件)	
担当部課【連絡先】	土木建築部土木総務課		【 098-866-2384 】	関連URL	-

様式1 (主な取組)

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況				(単位：千円)		
予算事業名	-			予算事業名	-	
主な財源	実施方法	R3年度 決算額	R4年度 決算見込額	R5年度		
—	その他			主な財源	実施方法	当初予算額
—	その他			—	その他	
令和4年度活動内容				令和5年度活動計画		
令和5年1月26日および27日で行われた沖縄インフラツーリズム研修での現場視察の実施。				令和4年度実施の研修と同様の研修での現場視察の実施。		

活動指標名	建設分野の研修等における視察現場件数 (累計)		R4年度			進捗状況	活動概要
	R2年度	R3年度	実績値 (A)	目標値 (B)	達成割合 A/B		
実績値	-件	-件	5件	2件	100.0%	順調	令和5年1月26日および27日でJICA沖縄が主催し、本県が共催して実施した沖縄インフラツーリズム研修において、「県道20号線 (橋梁整備箇所)」ほか4件の現場視察を実施した。

様式1 (主な取組)

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果	
<p>沖縄インフラツーリズム研修は、JICA長期研修員（フィリピン、インドネシア、チリ、パキスタン、ケニアの計5ヵ国から政府機関建設技術者等6名）と県内建設企業の人的・技術的ネットワーク構築を支援することを目的とした研修である。同研修で、本県が整備または管理をしている道路である「県道20号線（泡瀬工区）」「伊計平良川線（伊計大橋）」ほか3件を含む計5件の現場視察を実施したことから、取組は順調と判定した。</p>	
(2) これまでの改善案の反映状況	
令和4年度の取組改善案	反映状況
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 講義等の研修内容の充実を図るため、JICA沖縄や関係機関等との事前調整を繰り返し行い、必要となる研修生や研修手法等に関する情報収集に努めた。 ・ 本県の地域特性により培われてきた技術等の周知を図るため、離島架橋等の建設記録動画等が公開されている本県公式YouTubeチャンネルを紹介した。

3 取組の検証 (Check)	
類型	内容
⑦ その他(改善余地の検証等)	令和4年度の進捗状況が順調であることから、取組に対するさらなる効果の発現を促すべく、沖縄インフラツーリズム研修とは別の新たな研修の構築等、活動内容の拡充の検討する。

4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容
② 連携の強化・改善	新たな研修の構築等に向けて、県内建設企業からなる関係団体との連携の強化を図る。

様式1 (主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	5-(5)-イ	産業を担う人づくり	施策	④建設産業を担う人材の育成・確保
			施策の小項目名	○技術者・技能者等の育成・確保
主な取組	住宅建築に係る技術者講習会の開催		対応する成果指標	建設産業の魅力発信事業等実施数
施策の方向	・多様化・高度化するニーズに対応できるよう、技術者・技能者等の育成・確保に取り組むほか、海外建設市場等の新市場進出に向けた取組や国際交流等を通して、海外建設市場において必要とされる技術力や語学力、海外の商習慣等への知識を有する人材の育成・受入れを促進します。			

1 取組の概要 (Plan)

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画			
		活動指標(アウトプット)			
		R4	R5	R6	
建築関係技術者向けの講演会で、沖縄の伝統木造住宅(古民家)に係る講演を行い古民家の再生・活用の普及・啓発を行う。	県	住宅建築に係る技術者講習会の開催			
		講習会の開催回数(累計)			
		1回	1回(2回)	1回(3回)	
担当部課【連絡先】	土木建築部住宅課		【 098-866-2418 】	関連URL	—

様式1 (主な取組)

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況				(単位：千円)		
予算事業名	地域住宅施策推進事業			予算事業名	地域住宅施策推進事業	
主な財源	実施方法	R3年度 決算額	R4年度 決算見込額	R5年度		
内閣府計上	委託	0	5,183	主な財源	実施方法	当初予算額
				内閣府計上	委託	5,700
令和4年度活動内容				令和5年度活動計画		
県内建築技術者の技術向上を目的として、技術者向け講習会・講演会を開催した。				県内建築技術者の技術向上を目的として、技術者向け講習会・講演会を開催する。		

活動指標名	講習会の開催回数(累計)		R4年度			進捗状況	活動概要
	R2年度	R3年度	実績値(A)	目標値(B)	達成割合 A/B		
実績値	1回	0回	1回	1回	100.0%	順調	「県内木造建築物の空き家再生」や「沖縄県の気候風土適応住宅」をテーマとする技術講習会を開催した。また、県内の建築技術向上や建築人材獲得を目的とした建築講演会を開催した。

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果

講習会・講演会の開催数が目標回数を達成しており、また、全体受講者は275人(来場者174人、Web受講101人)と、多くの建築技術者(建築士、建設会社、学生など)が受講したことから取組は順調と判断した。

(2) これまでの改善案の反映状況

令和4年度の取組改善案	反映状況
①多くの建築技術者に受講してもらうための講習会の内容について検討が必要 ②コロナ禍におけるのソーシャルディスタンスや周知の仕方について検討していく。特にコロナ感染に十分に気を付けて行った。	①受注者との協議により、「伝統木造建築物と空き家再生および景観」をテーマとし、関心の高い講習内容を実施することで、多くの建築技術者が受講した。 ②講習会では、ソーシャルディスタンスを保ちながら座席を用意することができた。WEBによる同時受講としたことでコロナ対策が図られた。

様式1 (主な取組)

3 取組の検証 (Check)		4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容	類型	内容
⑦ その他(改善余地の検証等)	いかに多くの建築技術者が受講し、伝統的建築物の技術向上を図ることが課題である。	② 連携の強化・改善	受注者との協議により、「伝統木造建築物と空き家再生および景観」をテーマとし、関心の高い講習内容とすることができ、多くの建築技術者が受講した。

様式1 (主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	5-(5)-イ	産業を担う人づくり	施策	④建設産業を担う人材の育成・確保
			施策の小項目名	○労働環境の改善
主な取組	県発注工事における休暇の取得		対応する成果指標	建設産業の魅力発信事業等実施数
施策の方向	・週休二日制の促進など労働環境の改善を図り、将来の建設産業を担う人材を確保するための建設産業の魅力発信に取り組みます。			

1 取組の概要 (Plan)

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R4	R5	R6
建設産業を担う人材の確保のため、週休2日の取組促進の周知活動を実施する。	県	週休2日の取組促進の周知活動の実施		
		説明会の開催回数(累計)		
		2回	2回(4回)	2回(6回)
担当部課【連絡先】	土木建築部技術・建設業課 【 098-866-2374 】		関連URL	—

様式1 (主な取組)

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況				(単位：千円)		
予算事業名	—			予算事業名	—	
主な財源	実施方法	R3年度 決算額	R4年度 決算見込額	R5年度		
—	—	—	—	主な財源	実施方法	当初予算額
—	—	—	—	—	—	—
令和4年度活動内容				令和5年度活動計画		
<p>県及び市町村職員を対象に、週休2日の取組内容に関する説明会を開催した。更なる意識向上を図るため、毎月第4土日を「現場一斉閉所日」とした。</p>				<p>県及び市町村職員を対象に、週休2日の取組内容に関する説明会を開催。更なる意識向上を図るため、毎月第4土日を「現場一斉閉所日」の取組を継続。</p>		

活動指標名	説明会の開催回数 (累計)		R4年度			進捗状況	活動概要
	R2年度	R3年度	実績値 (A)	目標値 (B)	達成割合 A/B		
実績値	2回	2回	2回	2回	100.0%	順調	発注者である県及び市町村の職員への説明会を開催した。

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果

県及び市町村職員に対して、令和6年4月に適用される時間外労働の上限規制を踏まえた週休2日の必要性及び取組内容等に関する説明会を2回開催した。目標回数に到達したことから、取組は順調と判断した。

(2) これまでの改善案の反映状況

令和4年度の取組改善案	反映状況
<p>新型コロナウイルス感染症の感染防止に配慮するため、オンラインを活用した説明会を開催し、取組内容等の周知を図る。</p>	<p>オンラインによる説明会を開始し、周知を図ることができた。</p>

様式1 (主な取組)

3 取組の検証 (Check)		4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容	類型	内容
④ 社会・経済情勢の変化(外部環境の変化)	オンライン形式による説明会を実施することで、幅広く周知することができた。	⑥ 変化に対応した取組の改善	対面形式及びオンライン形式を併用した説明会を実施し、より効果的な周知を図ることができるよう取り組む。

様式1 (主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	5-(5)-イ	産業を担う人づくり	施策	④建設産業を担う人材の育成・確保
			施策の小項目名	○労働環境の改善
主な取組	労働環境の改善		対応する成果指標	建設産業の魅力発信事業等実施数
施策の方向	・週休二日制の促進など労働環境の改善を図り、将来の建設産業を担う人材を確保するための建設産業の魅力発信に取り組みます。			

1 取組の概要 (Plan)

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画			
		活動指標(アウトプット)			
		R4	R5	R6	
建設工事従事者の労働環境改善を図るため、県計画を推進し、各関係機関は安全及び健康の確保に関する取組を実施する。	県,関係団体	労働環境改善に係る取り組みの実施			
		沖縄県建設工事従事者安全健康確保推進会議の開催回数(累計)			
		1回	1回(2回)	1回(3回)	
担当部課【連絡先】	土木建築部技術・建設業課		【 098-866-2374 】	関連URL	—

様式1 (主な取組)

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況				(単位：千円)		
予算事業名	—			予算事業名	—	
主な財源	実施方法	R3年度 決算額	R4年度 決算見込額	R5年度		
—	—	—	—	主な財源	実施方法	当初予算額
—	—	—	—	—	—	—
令和4年度活動内容				令和5年度活動計画		
建設工事従事者の安全及び健康の確保に関する沖縄県計画を推進するため推進会議を設置し、各関係機関の取組内容を取りまとめた。				各関係機関の取組内容と課題を整理し今年度の取組を実施する。あわせて国計画の変更に伴う県計画の見直しを実施する。		

活動指標名	沖縄県建設工事従事者安全健康確保推進会議の開催回数 (累計)		R4年度			進捗状況	活動概要
	R2年度	R3年度	実績値 (A)	目標値 (B)	達成割合 A/B		
実績値	—	—	1回	1回	100.0%	順調	沖縄県建設工事従事者安全健康確保推進会議を行い、各関係行政機関及び建設業関係団体との連携、調整を図る。

様式1 (主な取組)

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果	
<p>沖縄県建設工事従事者安全健康確保推進会議を行い、各関係行政機関及び建設業関係団体と県計画に対応した取組内容や課題等を共有し連携を図った。関係機関からの労働災害の情報提供を踏まえて意見交換を行い、県計画の見直しを行った。</p>	
(2) これまでの改善案の反映状況	
令和4年度の取組改善案	反映状況
<p>推進会議での情報共有に基づき、県計画に反映させるか検討した。各関係機関が推進会議の進め方について合意し、取組内容の情報提供とその効果や課題について話し合うこととした。</p>	<p>令和4年9月に県計画を見直し、熱中症予防対策の徹底を取り入れた。労働環境改善につながる建設キャリアアップシステムを県の建設工事入札参加資格審査の等級格付基準に係る独自評価事項として審査項目に加えた。県の建設工事入札参加資格申請者のうち、約3割の業者が建設キャリアアップシステム事業者登録を行い加点された。</p>

3 取組の検証 (Check)	
類型	内容
④ 社会・経済情勢の変化(外部環境の変化)	令和5年に国の「建設工事従事者の安全及び健康の確保に関する基本的な計画」の変更があったことから、この変更に合わせて、県の計画を改定する必要がある。

4 取組の改善案 (Action)	
類型	内容
⑥ 変化に対応した取組の改善	令和5年に国計画の変更があったため、他県の状況や変更箇所の確認し、県変更計画(案)を策定する。令和6年度の推進会議に計画(案)を提案できるようにする。